

神戸市中央卸売市場の取扱高の推移について

1. 卸売市場を取り巻く環境

近年の消費者ニーズの多様化や生鮮食料品における流通構造の変化などとともに、物流2024年問題やトラックドライバー不足、さまざまな物価高騰の加速など、卸売市場を取り巻く環境は、さらに厳しい状況が続いている。今後も産地や実需者などから選ばれる市場として、生鮮食品の安定供給を担うインフラとしての役割を果たせるように市場内関係者が連携して取り組んでいく必要がある。

2. 令和6年（暦年）神戸市場（本場・東部市場）における青果及び水産物の取扱い状況

令和6年総取扱高は取扱数量で140,734^ト（前年比96.4%）、取扱金額で77,382百万円（同比97.2%）。

ア 市場別実績では、本場、取扱数量105,430^ト（前年比95.7%）、取扱金額60,753百万円（同比95.7%）、東部市場、取扱数量35,304^ト（同比98.4%）、取扱金額16,629百万円（同比103.3%）であった。

イ 卸売部門別では、青果部、取扱数量で112,464^ト（前年比97.9%）、取扱金額では37,273百万円（同比109.4%）。水産物部、取扱数量で28,270^ト（同比90.6%）、取扱金額では40,109百万円（同比88.0%）であった。

【取扱数量・金額】

		令和6年		令和5年		令和4年	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
本場	青果	83,448 ^ト	27,571百万円	85,213 ^ト	25,175百万円	90,731 ^ト	26,692百万円
	対前年比	97.9%	109.5%	93.9%	94.3%	91.9%	100.5%
	水産	21,982 ^ト	33,182百万円	24,932 ^ト	38,340百万円	27,959 ^ト	37,724百万円
	対前年比	88.2%	86.5%	89.2%	101.6%	101.3%	119.8%
	計	105,430 ^ト	60,753百万円	110,145 ^ト	63,514百万円	118,690 ^ト	64,416百万円
	対前年比	95.7%	95.7%	92.8%	98.6%	93.9%	111.0%
東部市場	青果	29,016 ^ト	9,702百万円	29,628 ^ト	8,882百万円	30,010 ^ト	8,728百万円
	対前年比	97.9%	109.2%	98.7%	101.8%	96.3%	102.0%
	水産	6,288 ^ト	6,927百万円	6,259 ^ト	7,217百万円	6,405 ^ト	6,546百万円
	対前年比	100.5%	96.0%	97.7%	110.3%	83.5%	100.7%
	計	35,304 ^ト	16,629百万円	35,888 ^ト	16,099百万円	36,416 ^ト	15,273百万円
	対前年比	98.4%	103.3%	98.6%	105.4%	93.8%	101.5%
部門別計	青果	112,464 ^ト	37,273百万円	114,841 ^ト	34,057百万円	120,741 ^ト	35,420百万円
	対前年比	97.9%	109.4%	95.1%	96.2%	92.9%	100.9%
	水産	28,270 ^ト	40,109百万円	31,191 ^ト	45,557百万円	34,364 ^ト	44,270百万円
	対前年比	90.6%	88.0%	90.8%	102.9%	97.5%	116.5%
	計	140,734 ^ト	77,382百万円	146,032 ^ト	79,614百万円	155,105 ^ト	79,689百万円
	対前年比	96.4%	97.2%	94.2%	99.9%	93.9%	109.0%

※統計については項目別四捨五入のため、合計と明細で端数が一致しないことがある。

3. 令和6年（暦年）東部市場における花きの取扱い状況

花き部では、令和6年の取扱数量で32,859千本（前年比95.6%）、取扱金額では2,790百万円（同比95.1%）であった。

		令和6年		令和5年		令和4年	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
東部市場	花き	32,859千 ^ホ	2,790百万円	34,354千 ^ホ	2,935百万円	37,130千 ^ホ	3,073百万円
	対前年比	95.6%	95.1%	92.5%	95.5%	90.1%	102.8%

4. 令和6年（暦年）西部市場における食肉の取扱い状況

令和6年総取扱高は、頭数が27,852頭（前年比103.8%）、重量は7,178^ト（前年比105.2%）、金額では18,204百万円（前年比110.1%）といずれも増加している。

ア 牛枝肉

頭数は12,372頭（前年比105.8%）、重量は5,557^ト（前年比106.1%）、金額では16,614百万円（前年比110.4%）といずれも増加している。

イ 豚枝肉

頭数は15,480頭（前年比102.3%）、重量は1,339^ト（前年比101.8%）、金額では876百万円（前年比109.5%）といずれも増加している。

ウ 部分肉等

重量は282^ト（前年比106.0%）、金額では715百万円（前年比103.3%）といずれも増加している。

【取扱数量・金額】

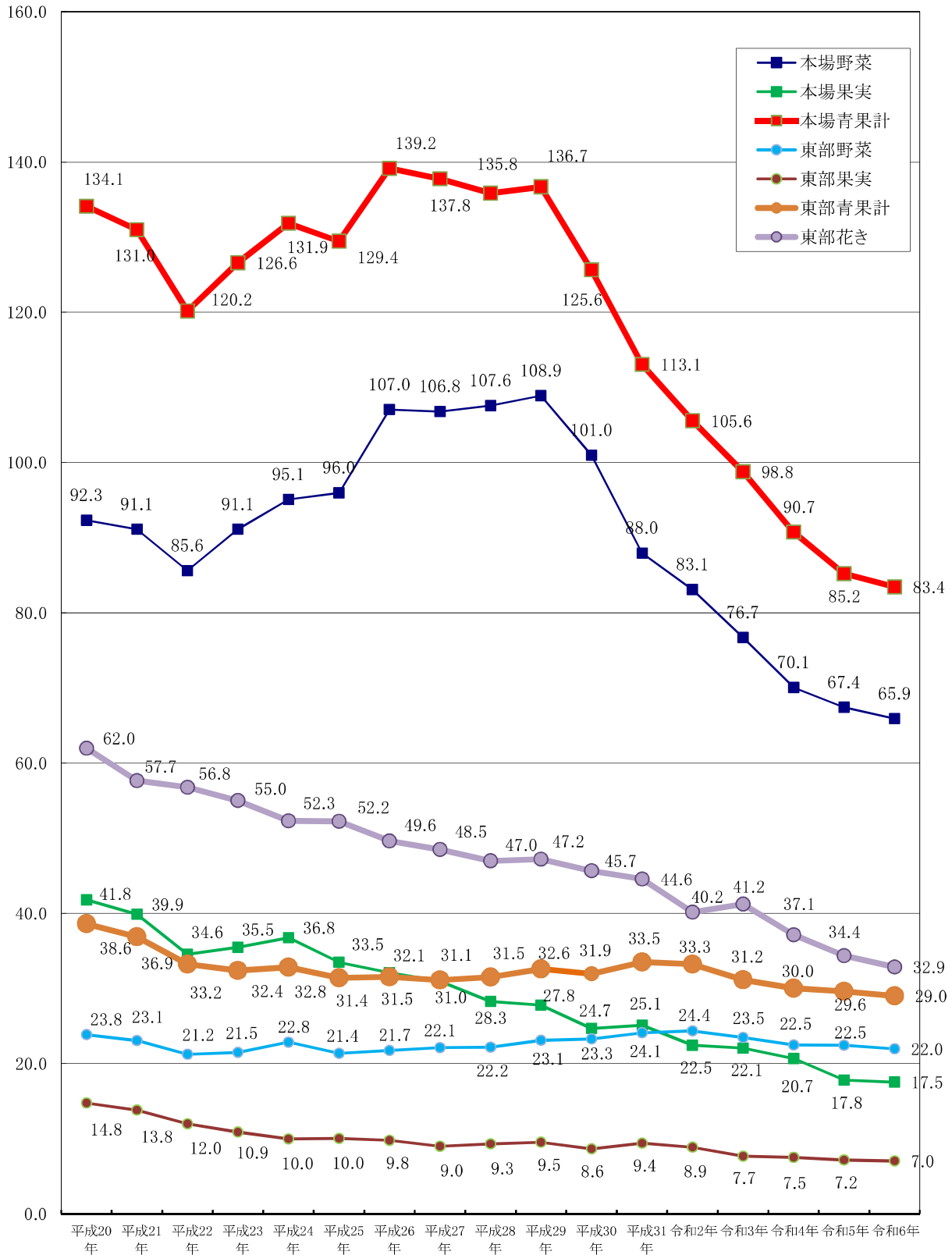
		令和6年		令和5年		令和4年	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
西部市場	牛	5,557 ^ト (12,372頭)	16,614百万円	5,239 ^ト (11,695頭)	15,048百万円	5,248 ^ト (11,699頭)	14,682百万円
	対前年比	106.1% (105.8%)	110.4%	99.8% (100.0%)	102.5%	106.8% (106.1%)	105.4%
	豚	1,339 ^ト (15,480頭)	876百万円	1,315 ^ト (15,138頭)	799百万円	1,337 ^ト (15,710頭)	742百万円
	対前年比	101.8% (102.3%)	109.5%	98.4% (96.4%)	107.6%	101.8% (101.1%)	106.9%
	部分肉等	282 ^ト	715百万円	266 ^ト	692百万円	248 ^ト	667百万円
	対前年比	106.0%	103.3%	107.3%	103.7%	136.3%	125.4%
	計	7,178 ^ト (27,852頭)	18,204百万円	6,820 ^ト (26,833頭)	16,538百万円	6,832 ^ト (27,409頭)	16,092百万円
	対前年比	105.2% (103.8%)	110.1%	99.8% (97.9%)	102.8%	106.6% (103.2%)	106.2%

※統計については項目別四捨五入のため、合計と明細で端数が一致しないことがある。

青果・花き 取扱数量（暦年）

（本場+東部市場）

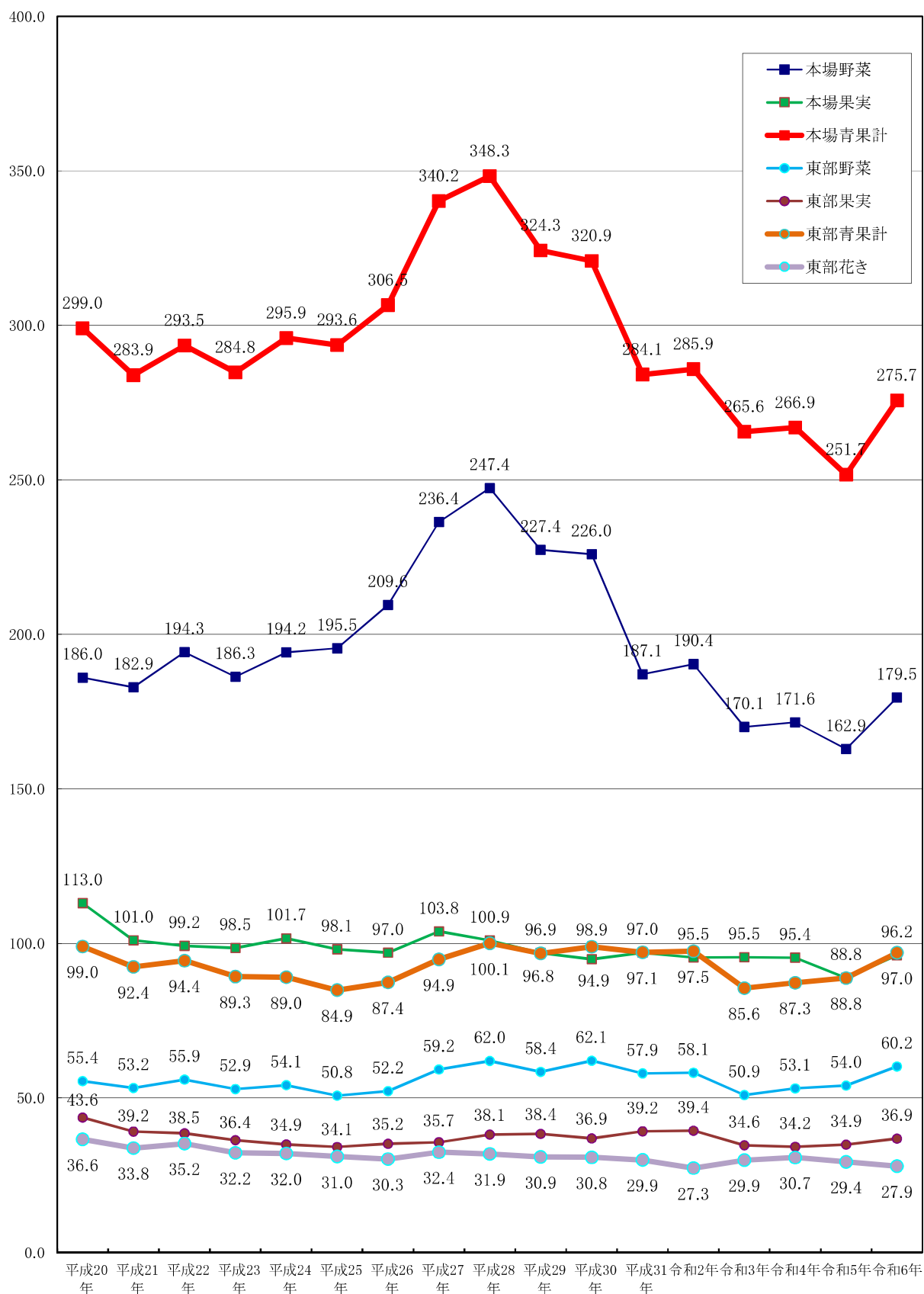
取扱数量
単位：千トン
花き：百万本



青果・花き 取扱金額（暦年）

（本場+東部市場）

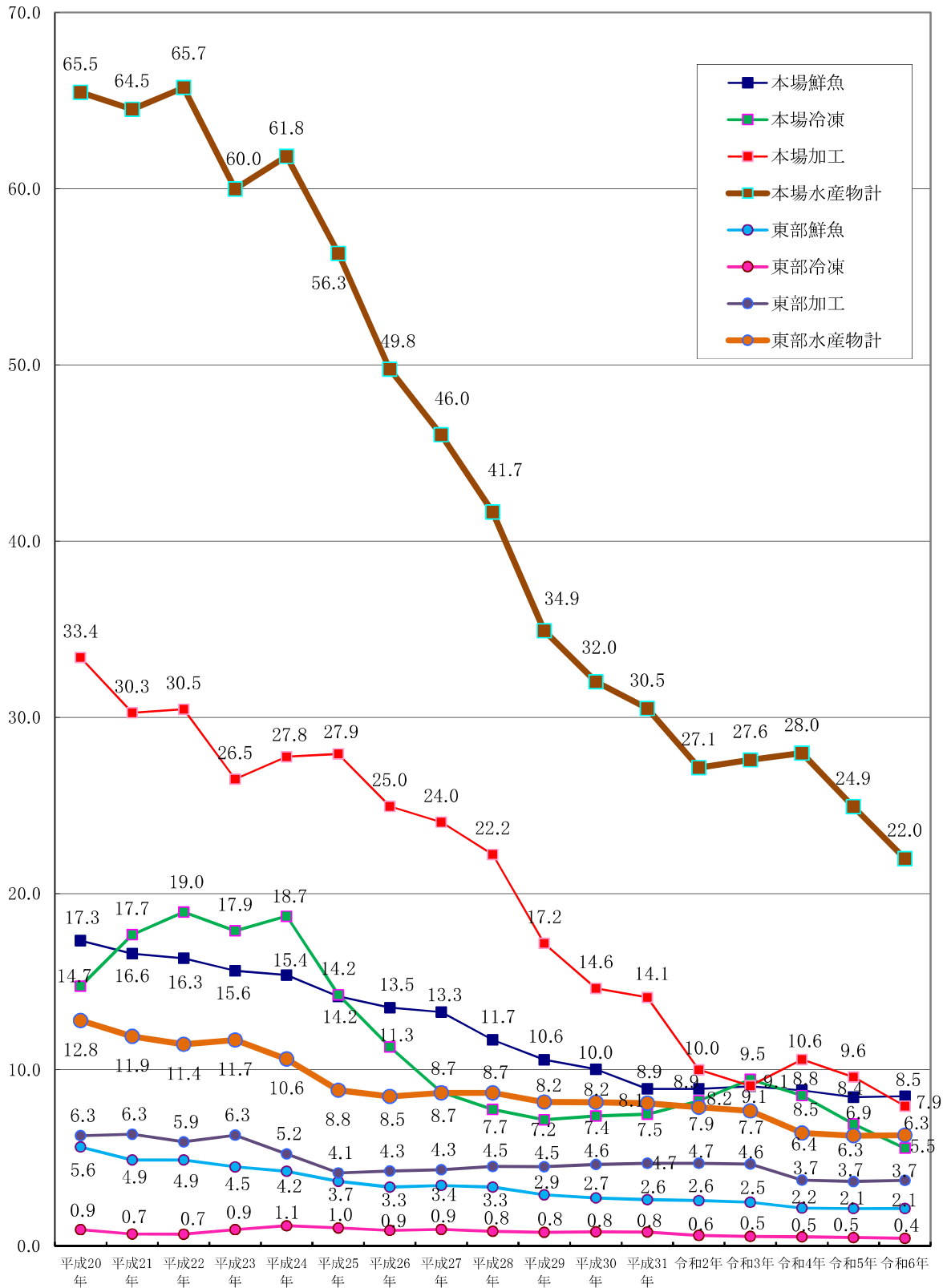
取扱金額
（単位：億円）



水産物 取扱数量（暦年）

取扱数量
（単位：千トン）

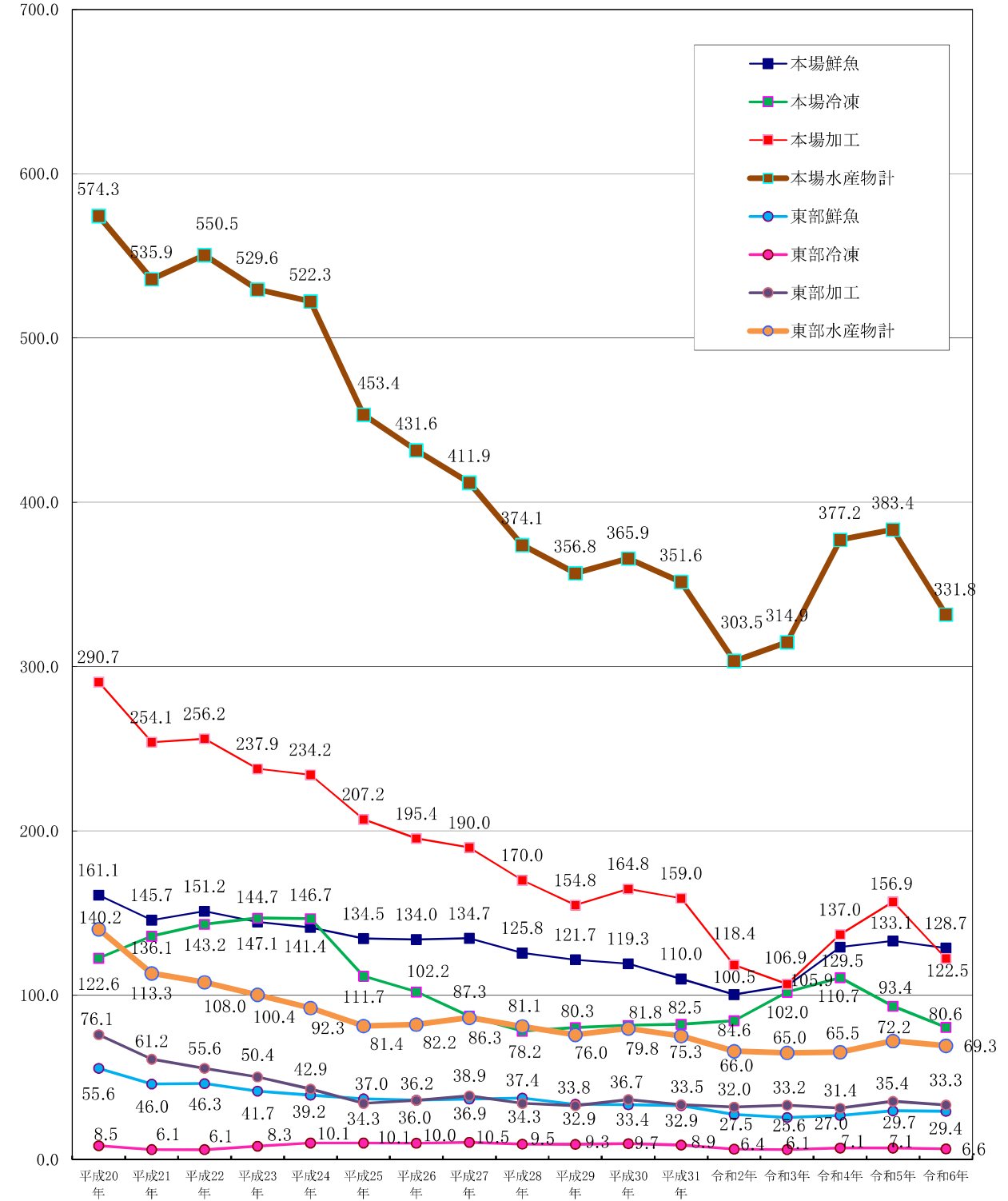
（本場+東部市場）

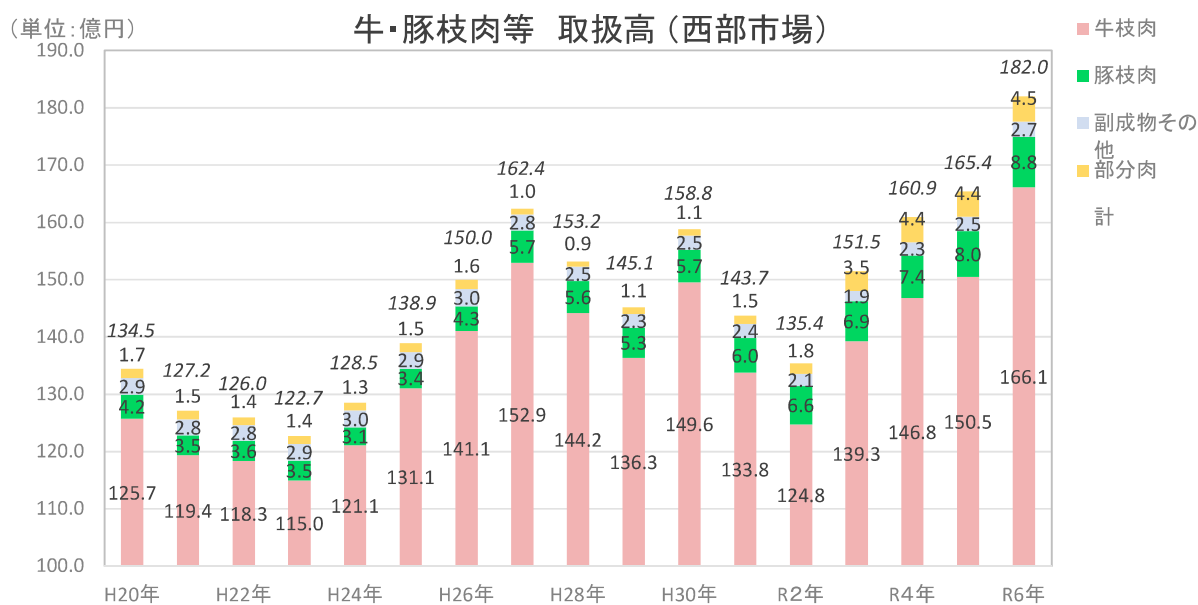
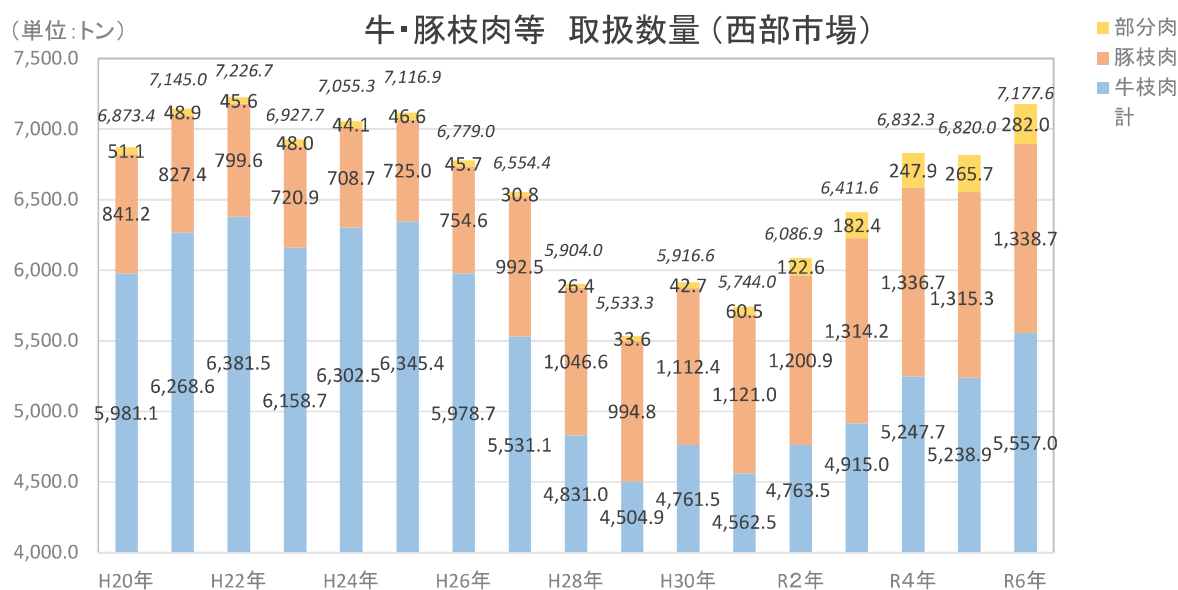
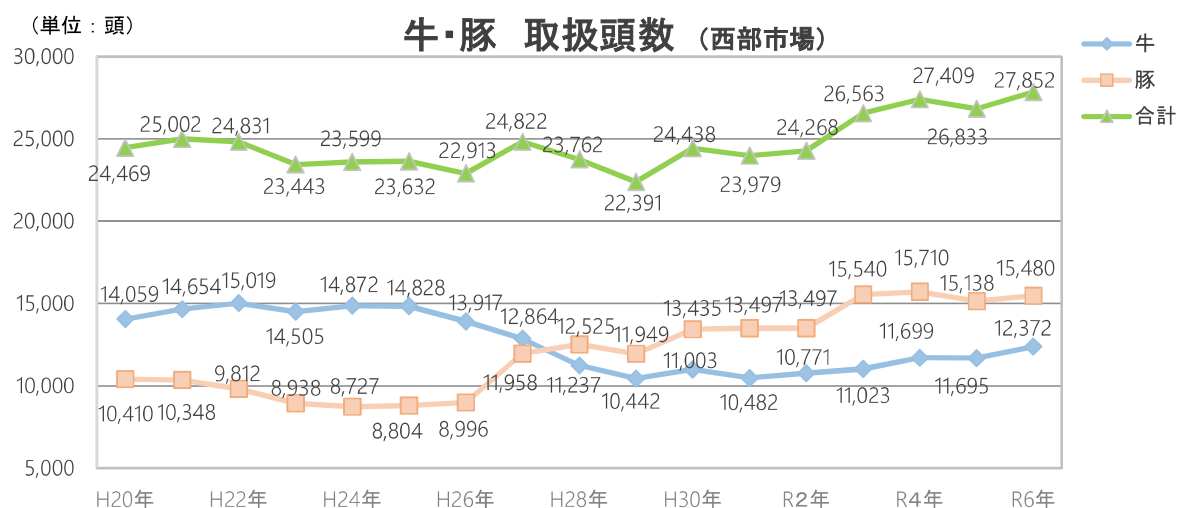


水産物 取扱金額（暦年）

（本場+東部市場）

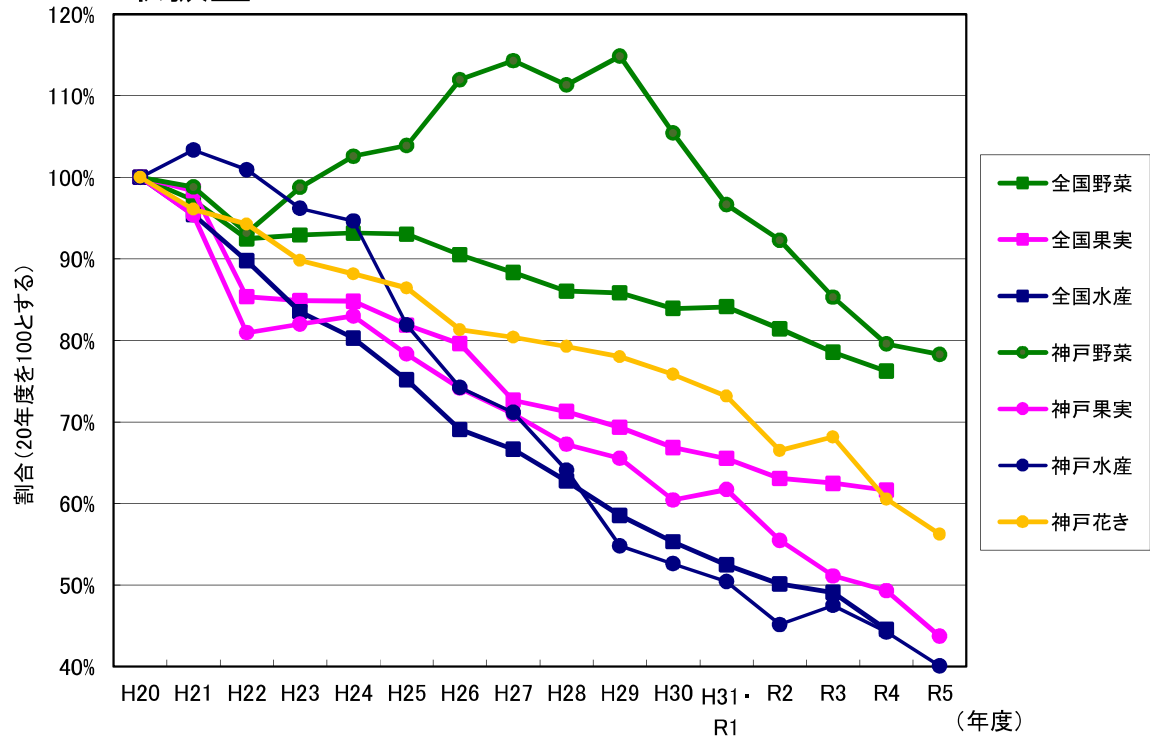
取扱金額
（単位：億円）



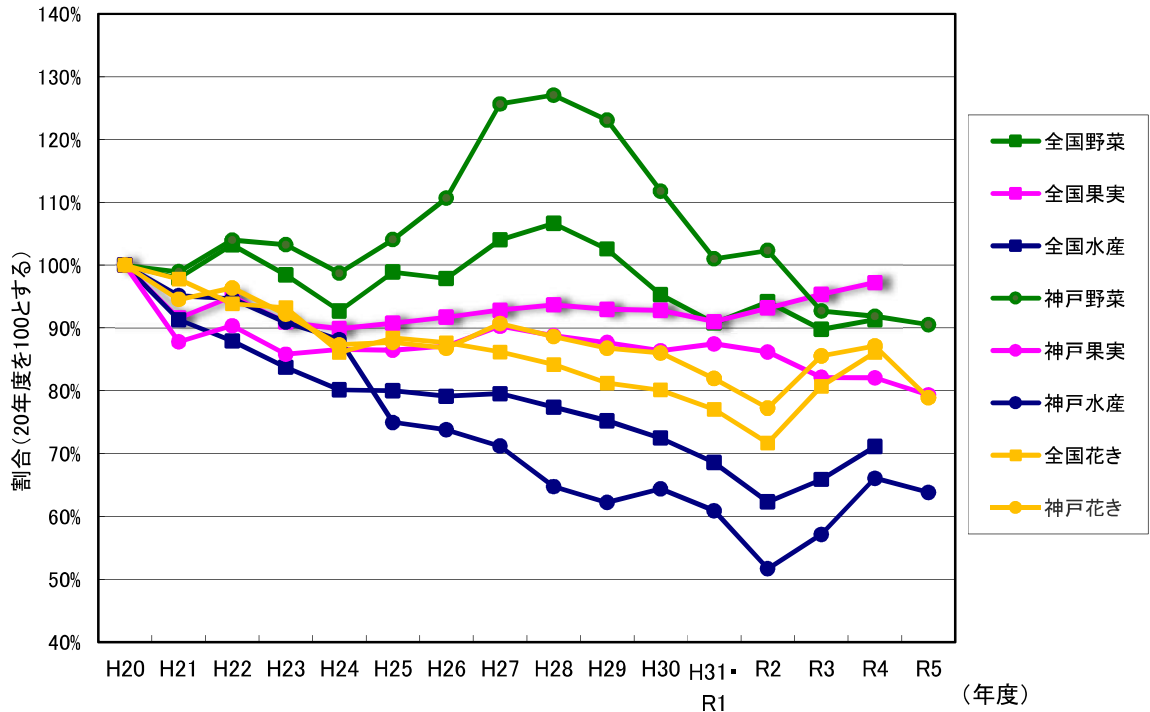


全国－神戸市(中央卸売市場)の比較 (青果・水産・花き)

取扱量



取扱高

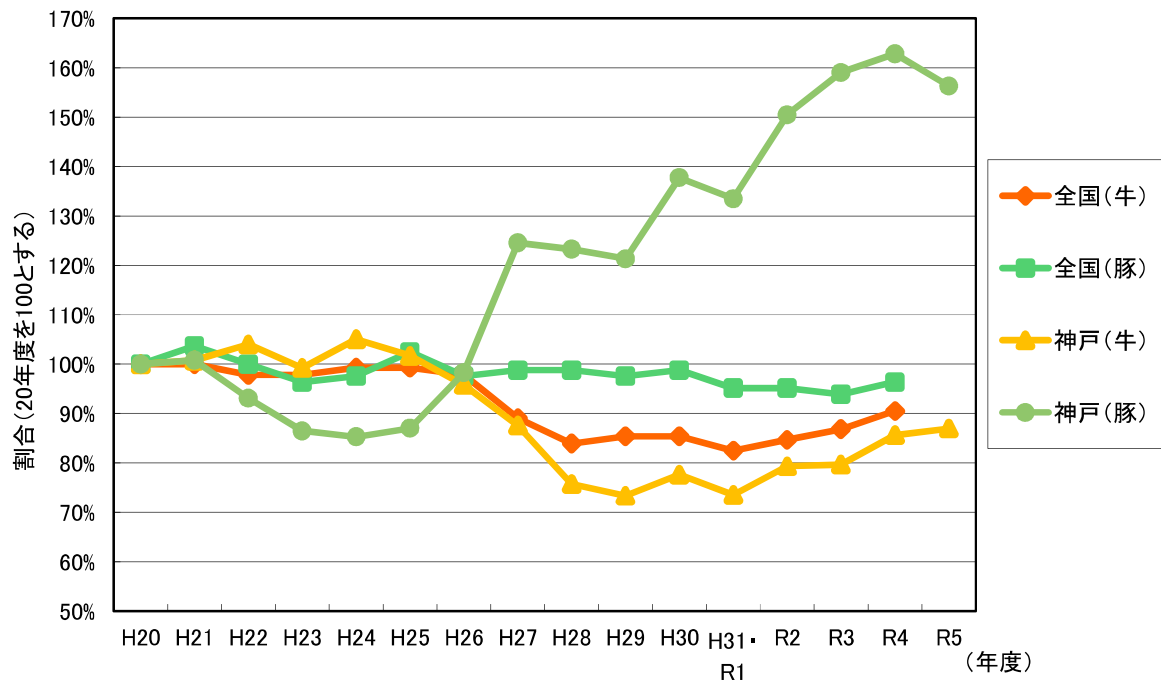


※2つの表とも、全国の数値は、全国の中央卸売市場の取り扱い合計であり、令和5年度の数値は、データが発表されていないため未掲載
また、上の表(取扱量)「全国花き」はデータが無いため未掲載

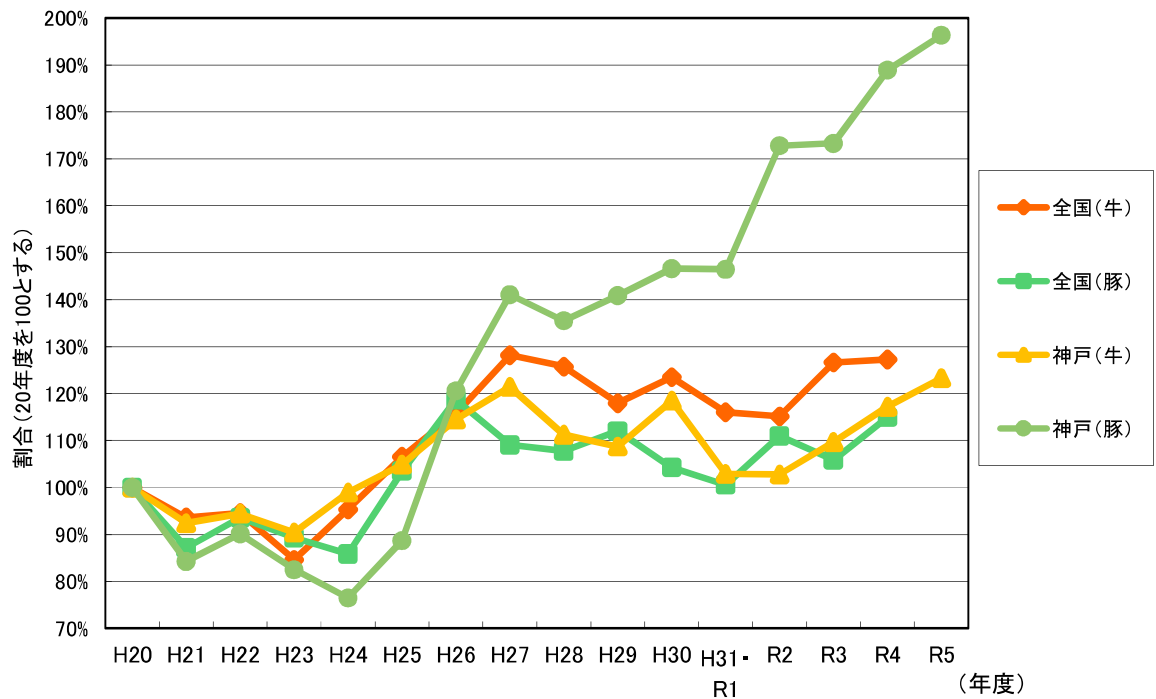
※神戸の数値は、神戸本場・東部市場の取り扱い合計である。

全国－神戸市(中央卸売市場)の比較 (食肉)

取扱量



取扱高



※ 2つの表とも、全国の数値については全国の中央卸売市場取り扱いの合計
 なお、令和5年度の数値は、データが発表されていないため未掲載

BE KOBE



神戸市中央卸売市場本場 「アクションプラン」の進捗状況報告

2025年2月25日

神戸市経済観光局 中央卸売市場運営本部本場

新たな本場の目標設定の背景

2013年度（平成25年度）から2017年度（平成29年度）にかけて下記の目標および、基本戦略を掲げ実施してきた。

○これまでの経営計画における本場の目標（目指すべき将来像）

『スピードと実行力のある市場』

○目標を実行するための基本戦略

- （１）流通機能の強化
- （２）品質・衛生管理の強化
- （３）管理・運営体制の再構築
- （４）市民に開かれた市場づくり

新たな本場の目標設定の背景

これまでの実施内容を踏まえ、新たに『市場関係者が一体となり、目標に向かって取り組んでいけるような中短期の目標』を設定するため、課題の整理を行った。

○本場の抱える課題整理

- ・取扱量の減少
 - ⇒市民の台所としての存在を示す必要がある
 - ⇒安心出来る生鮮物を適正な価格で安定供給する使命がある
- ・2024年問題、輸送部門の人材不足による物流の課題
 - ⇒産地から「荷が届かない」「集荷できなくなる」恐れへの対応
- ・将来を見据えた機能強化がもとめられている（厳しくなる市場間競争）
 - ⇒再整備の推進

新たな本場の目標設定の背景

○本場の抱える課題整理

卸売市場においては、2024年問題をはじめとする流通構造の変化による**リスクに直面**している。その中で本場は、交通アクセスの利便性や荷下ろし時間の大幅な短縮をアピールし、**産地から選ばれる市場**を目指す必要がある。また、2025年の神戸空港国際化により、**新たな仕入れ先の開拓や国内外の販売経路が広がる可能性**を秘めている。

さらに今後も、本場が**拠点市場としてあり続け、市民の食を支えていく**ことが求められている。

新たな本場の目標

『流通構造の変化に伴うリスクをチャンスに変え、新たな販売経路の開拓を目指し、市民の食を支える拠点市場』

○目標を達成するための実施項目

- (1) 流通機能のさらなる強化
- (2) 品質・衛生管理の徹底
- (3) 市民向け市場情報の発信
- (4) SDGsに関する取組の推進

○実施期間

2024年度(令和6年度)から2027年度(令和9年度)までの4か年

新たな本場の目標

○アクションプランの設定

本場の目標を達成するための実施項目に対して、より具体的に進めていくための行動計画としてアクションプランを設定した。

アクションプランとして、各実施項目(大項目)に具体的な内容(中項目)を2～5つ掲げ、さらにこれに対して具体的な実施内容(小項目)を決めた。

○アクションプランの実施

PDCA(Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(対策・改善))サイクルにより進めていく。

Plan ⇒ 具体的な実施内容を場内事業者と協議

Do ⇒ 実施内容を進めていく

Check ⇒ 専門部会にて実施内容の評価

Action ⇒ 評価を受けて対策、改善し、必要に応じ実施内容の見直しを行う以降、各年度上記を繰り返していく

新たな本場のアクションプラン

(1) 流通機能のさらなる強化

1) 2024年問題への対応

- ① 効率的な場内動線の確保
- ② 産地との連携
- ③ 共同集荷の活用（東部市場との連携）

2) 神戸空港国際化に向けて

- ① 国際化に向けた動向を注視し情報を共有
- ② 新規販路の模索、利便性のアピール

3) 活気ある市場へ

- ① 仲卸業者の新規参入の促進
- ② 買出人の新規開拓
- ③ 産地との良好な関係の維持

4) 場内事業者の経営健全化

- ① 外部講師による経営についての勉強会を開催
- ② 人材育成（後継者問題等）
- ③ 公認会計士による財務状況の検査及び助言

5) 地産地消の推進

- ① 市場、地元産地の連携強化
- ② 「こうべ旬菜」を使った魚果菜塾の開催

新たな本場のアクションプラン

(2) 品質・衛生管理の徹底

1) 品質管理の徹底

- ① コールドチェーン化の検討
- ② 埋立地への施設新設の推進

2) 衛生管理の徹底

- ① 食品衛生に関する場内事業者の意識改革
- ② 施設利用ルールの徹底遵守
- ③ HACCPの実施検証

(3) 市民向け市場情報の発信

1) 市場のPR

- ① SNSによる市民向けの情報発信
- ② 市場見学会の充実
- ③ 市場まつりや魚河岸デーなどのイベントによる市場開放

2) 食育教室の開催

- ① こべっこランドとの共催で食育教室を開催
- ② 小・中学校への出張料理教室

新たな本場のアクションプラン

(4) SDGsに関する取組の推進

- 1) 働きがいも経済成長も ————
 - ① 労働基準法の遵守、安心・安全な働ける職場づくり
 - ② 市場を活性化し、働きがいのある職場を

- 2) 気候変動に具体的な対策を ————
 - ① BCPのブラッシュアップ
 - ② 高潮対策
 - ③ 計画的で適切な施設維持

- 3) エネルギーをみんなにそしてクリーンに ————
 - ① 生ごみ等の廃棄物削減
 - ② 資源ごみの分別・回収の徹底



令和 6 年度実施状況報告

実施項目 （１）流通機能のさらなる強化

1）2024年問題への対応

① 効率的な場内動線の確保

- ・大屋根下通路に置かれる商品等の整理を行い、通路の確保、青果物配送用大型トラックバースを4区画から5区画に増設した。

▶ 混雑状況が緩和された。

② 産地との連携

- ・品目ごとに出荷会議・反省会の少なくとも年2回は産地に訪問し、コミュニケーションを取っている。それ以外にも商談などで不定期に訪問。

→卸、仲卸と連携し、荷主に対して本場の魅力をアピールをしていく

実施項目 (1) 流通機能のさらなる強化

1) 2024年問題への対応

③ 共同集荷の活用（東部市場との連携）

- ・概ね毎開市日に冷蔵車(約4tの商品を積み)を本場と東部市場を1往復している

【利用実績】

2023年度：521t(果実54t、野菜467t)

2024年度：775t(果実51t、野菜724t) ※12月末現在

→引き続き共同集荷を活用し、効率的な流通を図る

実施項目 (1) 流通機能のさらなる強化

2) 神戸空港国際化に向けて

① 国際化に向けた動向を注視し情報を共有

【国際線の開業決定状況】※2月6日現在

・2025年4月 国際チャーター便就航開始

	航空会社	就航先	運航頻度
韓国	大韓航空	ソウル(仁川)	1日2便
台湾	スターラックス航空	台北(桃園) 台中	台北: 週3便 台中: 1日1便
	エバー航空	台北(桃園)	週2便
中国	吉祥航空	上海(浦東) 南京	上海・南京: 1日1便

※GW期間中にベトナム便(ホーチミン、ダナン)を就航予定

・2030年前後 国際定期便の運用開始

→引き続き国際化の動向を注視し、市場内で共有を行っていく。

実施項目 （１）流通機能のさらなる強化

２）神戸空港国際化に向けて

② 新規販路の模索、利便性のアピール

- ・ 関西領事団、KICC等と連携し海外向け市場見学会を検討

→ 関西領事団へ相談を行ったが関西万博期間中は対応が難しいとのことであったため次年度以降も引き続き相談を行う

→ 神戸市海外ビジネスセンターや、JETROとの連携を図る

- ・ 神戸空港内への市場をPRするデジタルサイネージの掲載を検討

→ どのような内容で掲載を行うのか、場内事業者と共に検討を行う

実施項目 （１）流通機能のさらなる強化

３）活気ある市場へ

① 仲卸業者の新規参入の促進

- ・ 新規参入に関して場内事業者と意見交換を行った
→引き続き、新規参入の促進に向けて検討を行う

② 買出人の新規開拓

- ・ 神戸市中央卸売市場のホームページに「市場での仕入れをお考えの方へ」として新規の買い出し人向けのページを作成し、仕入れの相談がしやすい対応を整えた。
- ・ ３月２５日に飲食店事業者向けに市場見学兼商談会を実施予定

実施項目 (1) 流通機能のさらなる強化

3) 活気ある市場へ

③ 産地との良好な関係の維持

- ・品目ごとに出荷会議・反省会の少なくとも年2回は産地に訪問し、コミュニケーションを取っている。それ以外にも商談などで不定期に訪問。

→卸、仲卸と連携し、荷主に対して本場への魅力をアピールをしていく

((1) 1) ②再掲)

実施項目 (1) 流通機能のさらなる強化

4) 場内事業者の経営健全化

① 外部講師による経営についての勉強会を開催

- ・ (公財)神戸産業振興財団と連携し、3月11日に経営に関する勉強会を実施予定

講師：S・A・Iサポート代表 堂山 一成氏

- ・ 労働基準法に関する講演会の実施

厚生労働省兵庫労働局職員を講師に招き、深夜労働の取り扱い、パワハラについて講演を1月16日に行った。

講師：厚生労働省兵庫労働局職員

参加人数：31人



実施項目 (1) 流通機能のさらなる強化

4) 場内事業者の経営健全化

② 人材育成（後継者問題等）

- ・ハローワーク神戸と連携し、2月28日に求職者向けの市場見学会を実施予定
市場概要の説明、場内事業者からの業務紹介を行い、市場を知ることによって市場で働く精神的なハードルを下げる
- ・市場の営業時間に働くことが可能な留学生リストを場内で共有(ハローワーク神戸提供)

③ 公認会計士による財務状況の検査及び助言

- ・公認会計士による財務検査を実施し、財務管理などに関するポイントの助言を行った。（卸4社、仲卸5社）

→次年度以降も財務検査を継続実施

実施項目 (1) 流通機能のさらなる強化

5) 地産地消の推進

① 市場、地元産地の連携強化

- ・本場で取り扱っている商品を用いた料理教室を行い、市場商品のPRの実施

【2024年実績】青果部32回、水産物部27回、参加者計1,182人 ※12月末現在

→次年度以降も継続実施

② 「こうべ旬菜・BE KOBE農産物」を使った魚果菜塾の開催

- ・11月28日にこうべ旬菜ブロッコリーの魚果菜塾を実施

講師：JA兵庫六甲 神戸西宮農センター 石井 宏典氏

参加者：58名

→2025年度にスイートコーン、水菜の魚果菜塾の実施を検討



実施項目 （２）品質・衛生管理の徹底

1）品質管理の徹底

① コールドチェーン化の検討

- ・水産物部の卸売場、仲卸売場の低温化については、引き続き場内事業者と協議・検討を行う

② 埋立地への施設新設の推進

- ・新冷蔵庫棟・買荷保管所・大規模加工場の3施設の整備を行う。新冷蔵庫棟は2025年度より新冷蔵庫の工事着手予定
- 買荷保管所・大規模加工場についても、基本・実施設計に着手しており、新冷蔵庫棟と同じく2027年度の完成に向けて進めていく

実施項目 (2) 品質・衛生管理の徹底

2) 衛生管理の徹底

① 食品衛生に関する場内事業者の意識改革

【食品衛生検査所】

- ・ 食品衛生に係るリーフレットを年4回配布
- ・ 衛生講習会を実施

4月9日 HACCPについて 参加人数27人

8月5日 食中毒発生状況と最近のトピックスについて 参加人数23人

- ・ 冷蔵庫等の温度管理表示の確認
- ・ 加工場所の拭き取り検査(希望者のみ)

→引き続き、場内事業者に対して食品衛生に関する情報発信を行う。

実施項目 (2) 品質・衛生管理の徹底

2) 衛生管理の徹底

② 施設利用ルールの徹底遵守

- ・ 場内巡回を行い、指定場所以外での喫煙、モータラの2人乗りなど場内ルールを違反される方へ口頭注意
- ・ 受動喫煙啓発ポスター(神戸市保健所発行)を場内に掲出(約50枚)

→ 年度内を目途に場内の指定喫煙場所の増設及び、運営協議会にて本場内における秩序保持等に関する事務規程を制定予定

実施項目 (3) 市民向け市場情報の発信

1) 市場のPR

① SNSによる市民向けの情報発信

- ・ インスタグラムへの配信を週2日行い、日々の市場の様子、料理教室やイベントの様子を発信。

・ 小売店等の紹介

インスタグラムにて本場から仕入れを行っている小売店、飲食店等を紹介
第1弾目として「すし処さくら」紹介(1月7日配信)

→ 仲卸業者、小売組合と連携し、引き続き小売店等の紹介を行う

実施項目 (3) 市民向け市場情報の発信

1) 市場のPR

① SNSによる市民向けの情報発信

- ・ インスタグラムでのプレゼントキャンペーンの実施
アカウントのフォロー、投稿への「いいね」をされた方の中から抽選で、本場で流通する商品をプレゼント(全3回)

第1弾：シャインマスカット 応募期間10月1日～15日 応募件数約450件

第2弾：本マグロ 応募期間12月20日～1月19日 応募件数約850件

第3弾：サーモン、塩鮭 応募期間2月20日～3月19日

▶ インスタグラムのフォロワー：1,321(4/23時点)→2,575(1/20時点)

→引き続き、積極的な市場情報の発信を行う

実施項目 （３） 市民向け市場情報の発信

１）市場のPR

② 市場見学会の充実

- ・ 小学校、中学校、大学、民間団体の市場見学を受け入れ、市場の役割や機能の普及啓発を行った

実施回数17回 延べ参加人数551人 ※ 1月末現在

→ 参加者向けリーフレットの作成を検討する

→ 早朝せりから見学、料理教室との連携など、より市場の魅力が伝わる見学会の企画内容を検討する

実施項目 （３） 市民向け市場情報の発信

１） 市場のPR

③ 市場まつりや魚河岸デーなどのイベントによる市場開放

・ 魚河岸デーの実施

市民向けに市場を開放し、マグロの解体・即売や海産物販売、お魚さばき方教室や模擬セリを実施

11月16日(土) 来場者数：5,000人

2月15日(土) 来場者数：5,000人

→次年度以降も魚河岸デーを実施、また市場まつりの実施検討



実施項目 （３） 市民向け市場情報の発信

２）食育教室の開催

① こべっこランドとの共催で食育教室を開催

- ・小学生とその保護者を対象にした料理教室を、こべっこランド内にて実施
(全３回、各回参加人数：１６組３２人)

第１回：８月２９日「ぶどうのパフェ」

第２回：１０月１９日「柿のミニケーキ」

第３回：１月２５日「いちごのサンドイッチ」

※各回では調理体験に加えてＪＡから職員を招き、参加者に食材について講義を行った。

→次年度以降も、魚河岸デーなどのイベントへの協力など、こべっこランドと連携して食育を進めていく

実施項目 (3) 市民向け市場情報の発信

2) 食育教室の開催

② 小・中学校への出張料理教室

・こうべっ子お魚プログラムの実施

市内の中学校に訪問し、魚の三枚おろしなどの調理を体験していただく(計4回実施、延べ359人参加予定)

1月20日 須磨北中学校

2月3日 高取台中学校

2月17日 丸山中学校

3月10日 舞子中学校

→次年度以降もこうべっ子お魚プログラムの実施を検討

→幅広い方への(外国人向け等)料理教室の実施を検討

実施項目 (4) SDGsに関する取組の推進

1) 働きがいも経済成長も

① 労働基準法の遵守、安心・安全な働ける職場づくり

- ・労働基準法に関する講演会の実施

((1) 4) ①再掲)

② 市場を活性化し、働きがいのある職場を

- ・新規参入に関して場内事業者と意見交換を行った

((1) 3) ①再掲)

- ・ハローワーク神戸と連携し、2月28日に求職者向けの市場見学会を実施予定

((1) 4) ②再掲)

→場内事業者へインタビューを行い、SNSを用いて市場における働きがいなどの
発信を検討

実施項目 (4) SDGsに関する取組の推進

2) 気候変動に具体的な対策を

① BCPのブラッシュアップ

- ・ 11月18日に津波避難訓練を場内事業者と共に実施

→ BCPの課題について検討を進めていく

② 高潮対策

- ・ 神戸市港湾局との協議により高潮対策として、北側岸壁に防潮堤を増設
その他海岸保全施設が整備され、高潮への対策が強化された

③ 計画的で適切な施設維持

- ・ 大規模改修から小規模修繕まで、市場運営に支障が出ないように実施

→ 引き続き、計画的に改修、修繕を行っていく

実施項目 (4) SDGsに関する取組の推進

3) エネルギーをみんなにそしてクリーンに

① 生ごみ等の廃棄物削減

- ・ 事業系一般廃棄物に係る減量等計画を策定し削減に務めている

【一般廃棄物排出量の推移】

2022年度 3,814,784kg

2023年度 3,523,907kg

2024年度 2,026,217kg ※12月末時点

※OA紙、生ごみは年度末に集計を行うため含まず

→ 根本的な廃棄物削減策については、引き続き検討を行っていく

実施項目 (4) SDGsに関する取組の推進

3) エネルギーをみんなにそしてクリーンに

② 資源ごみの分別・回収の徹底

- ・ごみの分別の徹底・不法投棄対策として、場内事業者への説明文書の配布や啓発ポスターの掲示を行っている

職員や警備員による巡回パトロールを行い、不法投棄があった場合には監視カメラを確認し、行為者が特定出来れば注意・指導を行っている。

【不法投棄件数・廃棄物】

2023年度 19件(洗濯機・自転車・畳)

2024年度 45件(畳・扇風機・折りたたみ椅子) ※12月末時点

BE KOBE



神戸市中央卸売市場業務運営協議会
令和6年度 東部市場専門部会

[議題1]

経営展望計画(2024-2028)の進捗状況について



本日の報告及び協議内容

- (1) 経営展望計画の評価方法について
- (2) 今年度の取り組み実績の報告
- (3) プロジェクトチームの報告
- (4) 東部市場の将来像検討のためのワーキンググループの立ち上げについて



(1) 経営展望計画の評価方法について

1. 東部市場の特長を活かした戦略的取組の推進

- (1) 物流面でのアクセスの優位性のPR
- (2) コールドチェーンに配慮した加工場・冷蔵庫棟の活用
- (3) 場内荷捌き及び保管・加工機能の向上の検討
- (4) 産地との関係性強化による特色ある集荷
- (5) 部門間及び卸売業者・仲卸業者間の連携促進による
総合力の発揮

2. 市場活性化へ向けての取り組み

- (1) 開かれた市場づくりの更なる推進による賑わいの創出
- (2) SNSなど様々な媒体を活用した情報発信
- (3) 新たな仲卸業者、売買参加者の参入促進



(1) 経営展望計画の評価方法について

3. 施設の計画的活用を検討

- (1) 施設の計画的な改修等による市場機能の維持・向上
- (2) 特設棟、軟弱そ菜棟などの再活用の検討
- (3) 施設管理、衛生・品質管理体制の確立・運用

4. 新たな課題への対応

- (1) ドライバー不足(2024年問題)への対応
- (2) DX化への対応
- (3) 神戸空港への国際線就航を踏まえた施策の検討



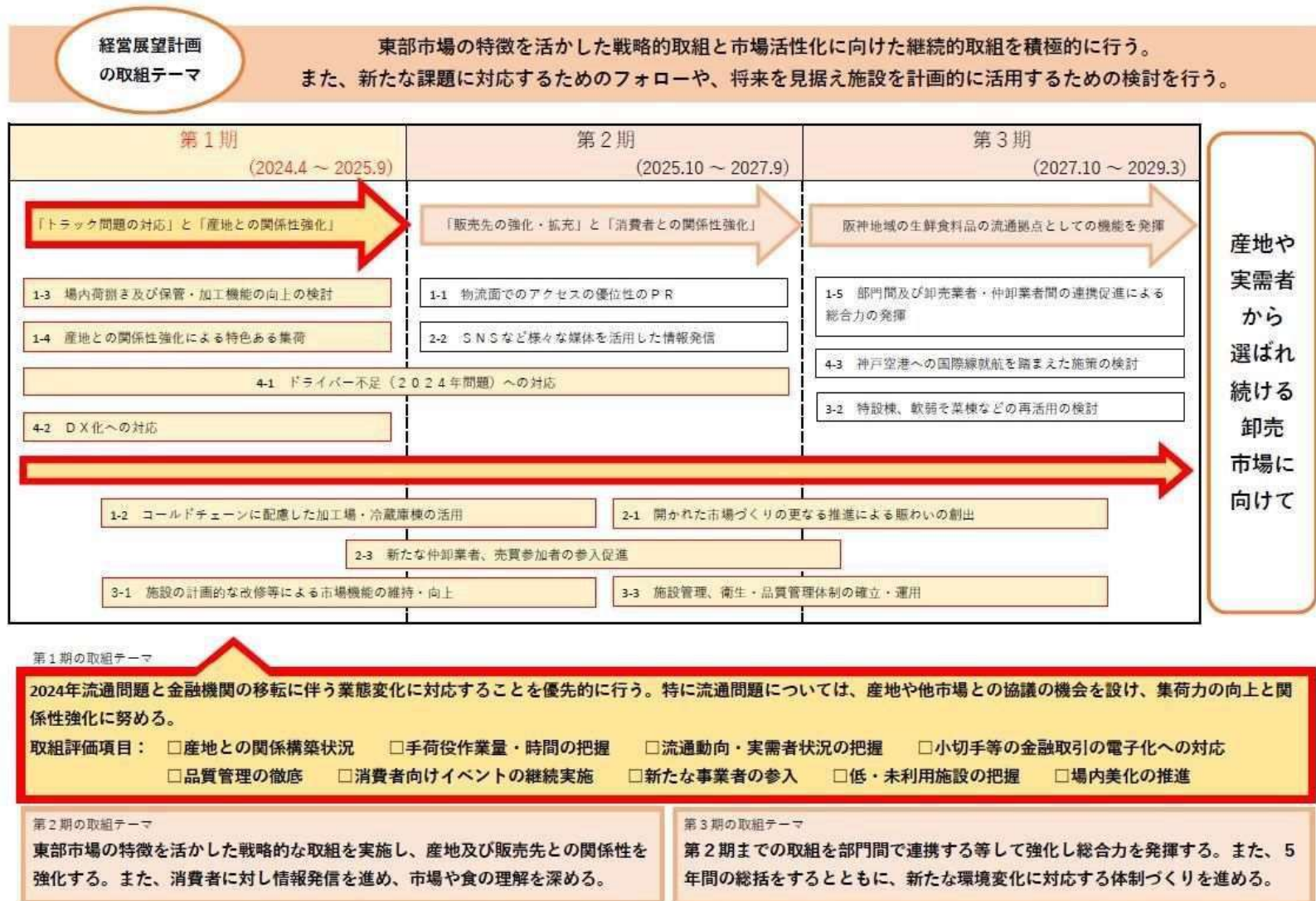
産地・実需者から選ばれ続ける卸売市場に向けて

< 経営展望計画(2024-2028)のビジョン >



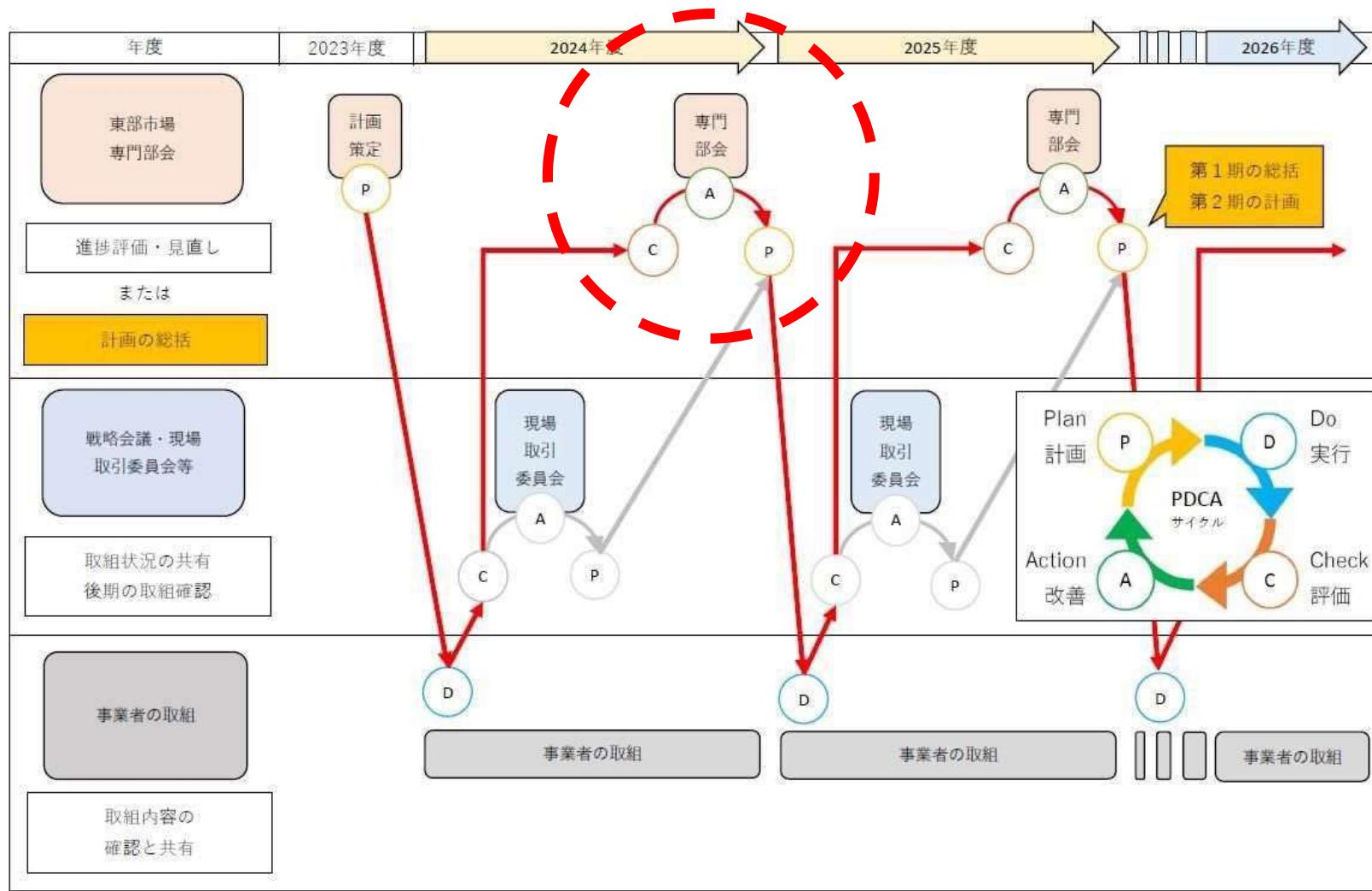
(1) 経営展望計画の評価方法について

◎ ロードマップ(第1期)



(1) 経営展望計画の評価方法について

◎ PDCAサイクルの運用



本日の報告及び協議内容

- (1) 経営展望計画の評価方法について
- (2) 今年度の取り組み実績の報告
- (3) プロジェクトチームの報告
- (4) 東部市場の将来像検討のためのワーキンググループの立ち上げについて



(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

基本戦略1 東部市場の特長を活かした戦略的取組の推進

- ◎ 姫路のイチゴハウス集荷開始
- ◎ 阪急百貨店で消費者向けイベント実施
- ◎ リースパレット返却の周知

姫路に関西最大級イチゴ農園

3.8畝で25万株栽培



関西最大規模のイチゴ農園を建設し、生産を始める空浮の大山隆社長＝いずれも姫路市西脇

兵庫産品種の生産拡大目指す

農産物生産販売の「空浮」

同社は2015年1月に大山隆社長らが設立した。資本金990万円。同社の独自ブランド「空浮いちご」は西日本を中心に広く販売されており、年々生産規模を拡大させている。

兵庫県内への進出を決めたのは、全国的に有名な洋菓子メーカーが多く、県産イチゴの需要が高いため、個人のイチゴ農家が多く、これまでまとまった形で市場に出ることが少なかったためという。加えて、四国や九州のイチゴが兵庫県内で売られている現状も把握した上で、進出の是非を検討した。

県内で9カ所ほどの土地をリースアップし、気候や物流面、雇用

コトコトステージ

新春!模擬競り開催

◎1月12日(日) 午後1時～
◎食料品サービスカウンター横

旬のフルーツや食べ応えのあるお肉などを揃えました。競り体験をお楽しみいただけます。ご家族揃ってご参加くださいませ。
※なくなり次第終了



↑ 消費者へ市場をPR

← 産地のブランド向上に貢献

(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

基本戦略2 市場活性化へ向けての取り組み

- ◎ フラワーアレンジ教室の新規実施
- ◎ 東部市場の生鮮食材で産地と甲南大学をつなぐプロジェクトの継続実施 (年6回実施)
- ◎ 水産部新規仲卸業者の参入 (令和6年12月業務許可)



↑ 消費者向けイベント(花育)

産官学連携 →



8/21

(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

基本戦略2 市場活性化へ向けての取り組み

◎ 開設55周年東部市場フェスタの開催

マグロ解体ショー
開設55周年
花き市場 開設50周年
東部市場フェスタ
食べる・知る・遊ぶ
市場をまるごと楽しもう!
キッチンカー
開催日
2024.11.30 (土)
10:00 ~ 13:00 雨天決行
【9:30 ~ オープニングセレモニー終了後スタート】

催し物

- マグロ解体ショー&販売
- 野菜・果物模擬せり
- 手作り豚まん教室
- 食育クイズ
- JAZZバンド演奏
- クイズラリー
- みかんの重さあてクイズ

ショッピング&グルメ

- 年末商材の奉仕販売
- 野菜・果物の奉仕販売
- 花の奉仕販売
- 青果産地フェア
- 横丁お楽しみ弁当
- 飲食出店
- キッチンカー

知って楽しい! 東部第4工区エリア

- アライコーヒーロー株式会社
- エム・シーシー食品株式会社
- キュービー株式会社神戸工場
- 東洋ナッツ食品株式会社

主催：一般社団法人神戸市東部中央卸売市場協会

お問合せ先
神戸市総合コールセンター (年中無休 8:00 ~ 21:00)
ナビダイヤル: 0570-083330 TEL: 078-333-3330

詳しくはホームページで
ご確認ください
二次元コードから
アクセスできます

神戸市東部中央卸売市場
住所：神戸市東灘区東江浜町 1-1

検索



(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

基本戦略3 施設の計画的活用 of 検討

◎ クリーン作戦(場内清掃)の実施(青果仲卸年4回実施)

◎ ゴミ処理ルールの周知と遵守

粗大(不燃)ごみ排出方法の適正化について
(事前のお知らせ)

神戸市中央卸売市場東部市場長

1 適正化の内容
神戸市のごみの排出ルールどおり粗大(不燃)ごみ指定袋の使用を導入します。

2 開始時期
来春、令和6年4月1日(月)から

3 指定袋の購入
指定袋取扱店から各事業者が自ら購入してください。

4 ごみの排出方法(詳細 別紙参照)
(1) 粗大(不燃)ごみは、粗大(不燃)ごみ指定袋に入れて下さい。
(2) 使用する粗大(不燃)ごみ指定袋の裏面に、事業者名(会社名、屋号、組合名等)を必ず大きく記載してください。
※可燃ごみ指定袋には事業者名の記載は不要です。

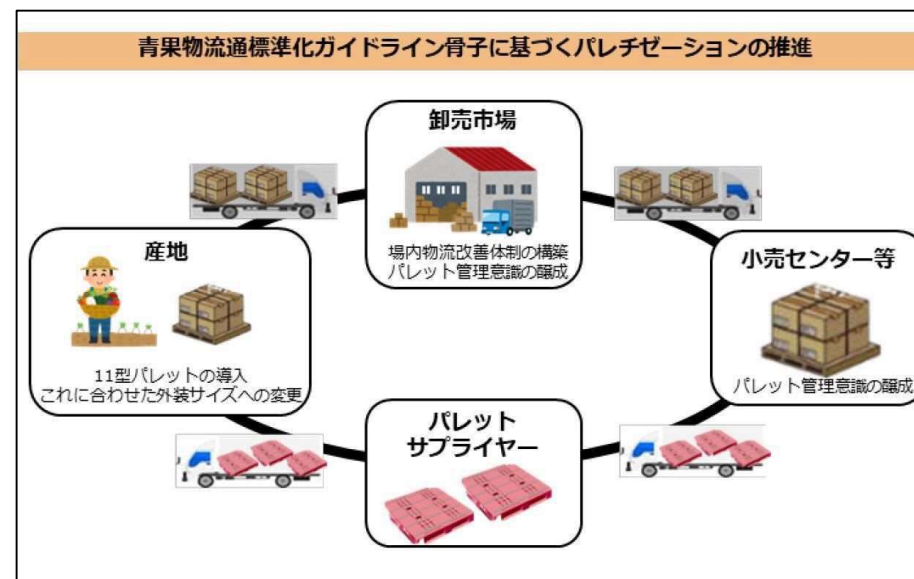
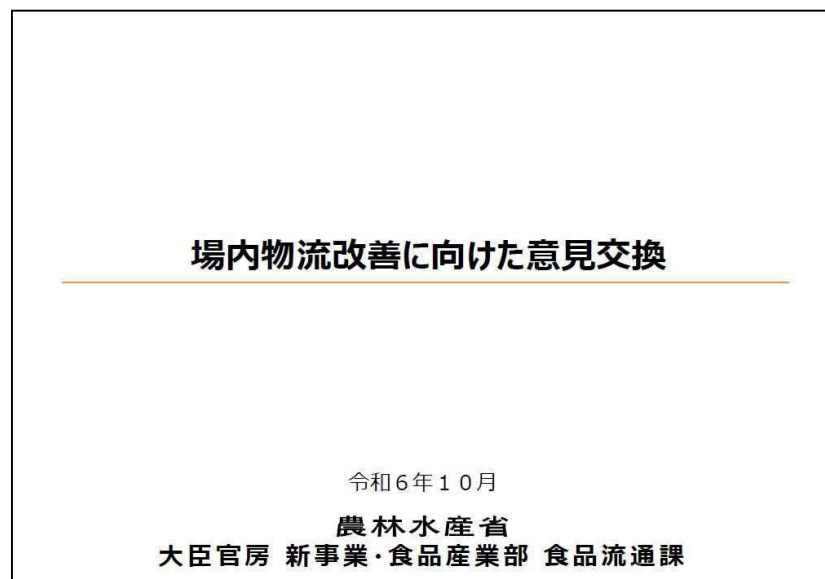
← 場内美化・
禁煙の推進

10/21

(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

基本戦略4 新たな課題への対応

- ◎ 共同集荷事業の継続実施
- ◎ みなと銀行臨時集金窓口の開始
- ◎ 近畿農政局との意見交換



↑ ドライバー不足への対応

(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

◆ 取組実績の事業者アンケート結果 ◆

● アンケート調査の実施

NO.	取組事項	(上段:取組項目)	2026	2027	2028	たいへん よくできた (5点)	よくできた (4点)	ややできた (3点)	あまり できなかった (2点)	できなかった (1点)
1-1	物流面でのアクセスの優	産地と流通コスト削減の取組を協議・実施								
	意見交換会	☒								
	戦略会議	☐								
	事業活用検討	☐								
	取組試行実施	☐								

②取り組んだ内容を説明してください。

③各取組について、自己評価に近いもの1つに○をつけてください。

①取り組んだ内容に☑を記入しましょう。

広がり



5社以上が取り組んだ

1～4社が取り組んだ

回答は0社だった

充実度



5点

4点

3点

2点

1点

無回答

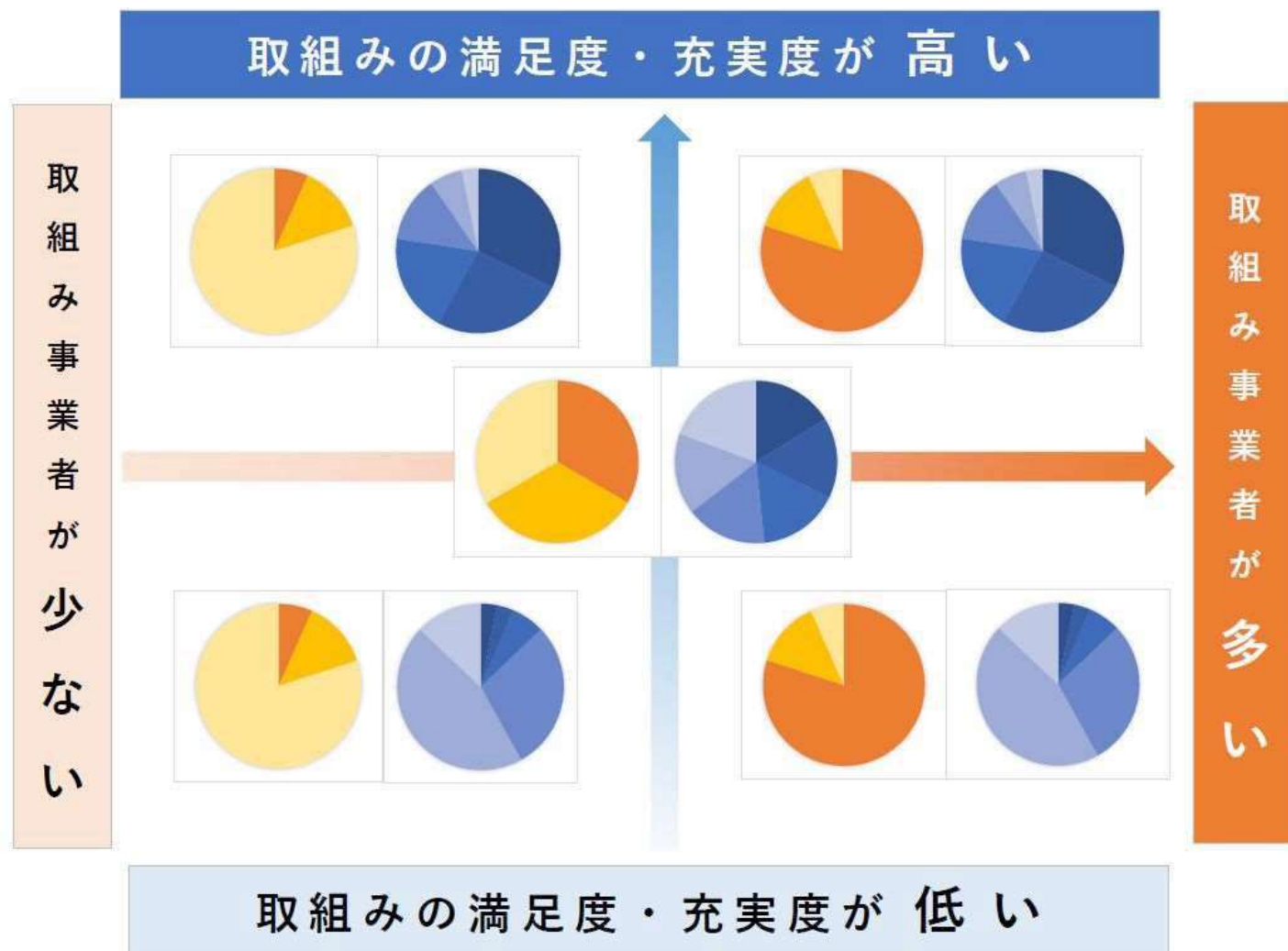
たいへん
よくできた

できなかった

12/21

(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

◆ 取組実績の事業者アンケート結果 ◆



(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

◆ 取組実績の事業者アンケート結果 ◆

【戦略1】東部市場の特長を活かした戦略的取組の推進



【戦略2】市場活性化へ向けての取り組み



【戦略3】施設の計画的活用への検討



【戦略4】新たな課題への対応



14/21



(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

◆ 取組実績の事業者アンケート結果 ◆

【第1期の取組評価項目の結果】

第1期の取組テーマ

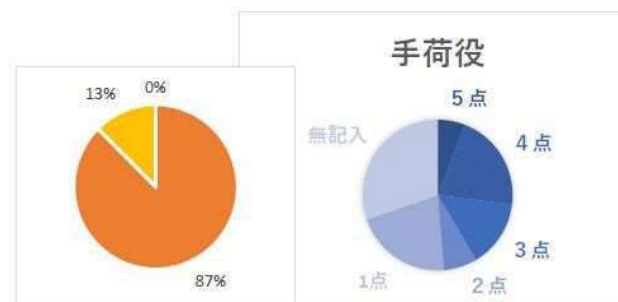
2024年流通問題と金融機関の移転に伴う業態変化に対応することを優先的に行う。特に流通問題については、産地や他市場との協議の機会を設け、集荷力の向上と関係性強化に努める。

取組評価項目：
☐ 産地との関係構築状況 ☐ 手荷役作業量・時間の把握 ☐ 流通動向・実需者状況の把握 ☐ 小切手等の金融取引の電子化への対応
☐ 品質管理の徹底 ☐ 消費者向けイベントの継続実施 ☐ 新たな事業者の参入 ☐ 低・未利用施設の把握 ☐ 場内美化の推進

☐ 産地との関係構築状況



☒ 手荷役作業量・時間の把握



☒ 流通動向・実需者状況の把握



☒ 小切手等の金融取引の電子化への対応



15/21

(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

◆ 取組実績の事業者アンケート結果 ◆

【第1期の取組評価項目の結果】

第1期の取組テーマ

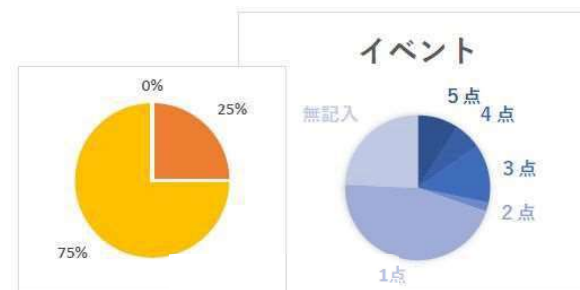
2024年流通問題と金融機関の移転に伴う業態変化に対応することを優先的に行う。特に流通問題については、産地や他市場との協議の機会を設け、集荷力の向上と関係性強化に努める。

取組評価項目：
☐ 産地との関係構築状況 ☐ 手荷役作業量・時間の把握 ☐ 流通動向・実需者状況の把握 ☐ 小切手等の金融取引の電子化への対応
☐ 品質管理の徹底 ☐ 消費者向けイベントの継続実施 ☐ 新たな事業者の参入 ☐ 低・未利用施設の把握 ☐ 場内美化の推進

✓ 品質管理の徹底(品質管理)



✓ 消費者向けイベントの継続実施 (イベント)



☐ 新たな事業者の参入(新規)

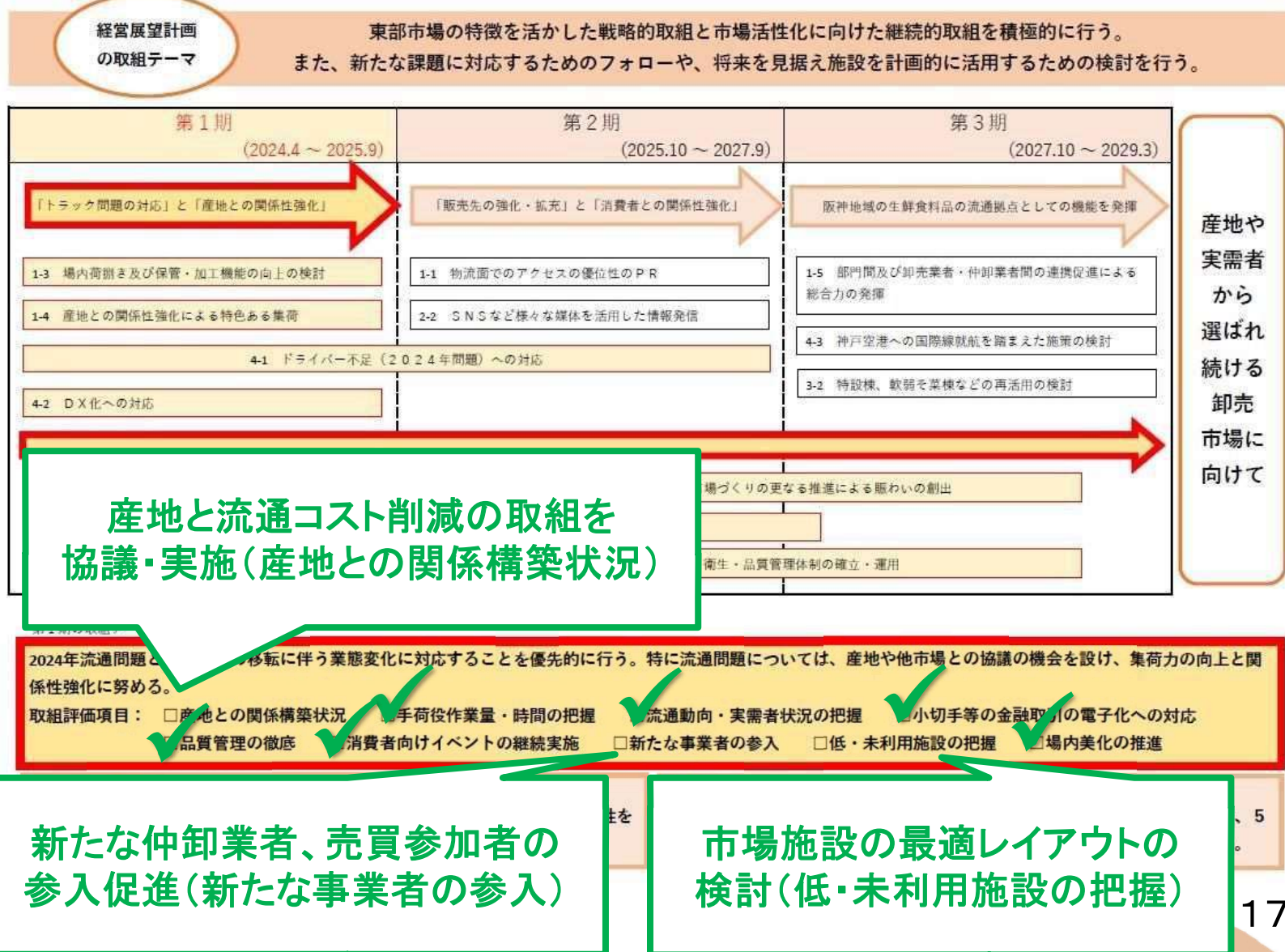
☐ 低・未利用施設の把握(施設)

✓ 場内美化の推進(美化)



(3) 今年度の取り組み実績の報告(ロードマップ第一期の主な実績)

◎ ロードマップ第二期に向けて 第一期の主な未達成項目



本日の報告及び協議内容

- (1) 経営展望計画の評価方法について
- (2) 今年度の取り組み実績の報告
- (3) プロジェクトチームの報告**
- (4) 東部市場の将来像検討のためのワーキンググループの立ち上げについて



(2) プロジェクトチームの報告

○ プロジェクトチームの結成

市場全体が一体感を持った取組を行うことにより、経営展望計画(2024-2028)のビジョンの実現に寄与するため、プロジェクトチームを結成しました。(令和7年2月7日)

○ プロジェクトチーム概要

- ・青果部, 水産部, 花き部, 関連事業所, 開設者よりそれぞれ選出された構成員で組織する。
- ・構成員の任期は, 選任から2029年3月31日まで。
- ・部門を超えた取組みについて具体的な活動を検討し、 実行する。

○ 令和7年度の活動テーマ

「SNS等の媒体を活用した情報発信」



本日の報告及び協議内容

- (1) 経営展望計画の評価方法について
- (2) 今年度の取り組み実績の報告
- (3) プロジェクトチームの報告
- (4) 東部市場の将来像検討のための
ワーキンググループの立ち上げについて

東部市場の将来像検討のためのワーキンググループの立ち上げについて

1 趣旨

昭和 44 年 11 年の開設から 55 年を経過した神戸市中央卸売市場東部市場は、阪神・淡路大震災による甚大な被害を乗り越え、生鮮食品の安定供給を担うインフラとして重要な役割を果たしてきた。

しかし、消費者ニーズの多様化や農水産物の生産・流通構造の変化、さらには卸売市場法の改正や 2024 年問題への対応など、卸売市場を取り巻く経営環境は大きく変化し、市場関係者は対応を求められている。

一方で、施設の老朽化が進むなかで、卸売市場内での取引量や形態が開設当初と大きく変化し、また夏場の猛暑など気候変動によって生鮮食品の鮮度管理が一層求められるようになるなど、場内事業者のニーズに合った施設の整備も課題となっている。

そこで、東部市場の現状を把握し場内事業者間の共通理解を図るためワーキンググループを令和 7 年度内に立ち上げ、東部市場の将来像を検討するための基本情報を年度内に整理する。

2 ワーキンググループの位置づけ

東部市場専門部会事務局（開設者：神戸市経済観光局）主催のワーキンググループ

3 活動内容

改正卸売市場法、2024 年問題等社会経済情勢の変化を踏まえた卸売市場の役割、東部市場の現状等について場内事業者間で共通理解を深め、東部市場の将来像の検討に向けた準備のために、以下の活動を予定。

- ・市場関係者向け勉強会（学識経験者による講演会など）、市場関係者による意見交換会の実施（3 回程度予定）
- ・場内事業者の意見の吸い上げ（聴取）と分析（夏ごろ）
- ・必要と見込む施設規模、強化すべき市場機能などの検討（夏以降）
- ・東部市場専門部会に活動内容を報告（令和 8 年 2 月ごろ）

4 メンバー（各社・団体から実務者 1～2 名で構成）

- ・神戸中央青果(株)
- ・神港魚類(株)東部支社
- ・(株)大水神戸東部支社
- ・(株)JF 兵庫県生花神戸本社
- ・神戸東部青果卸売協同組合
- ・神戸市東部水産物卸売協同組合
- ・神戸中央冷蔵(株)東部支社
- ・神戸市東部市場関連事業者組合
- ・開設者（神戸市）

※アドバイザーとして学識経験者